



1

153

空欄の前後がどのような関係になっているか考えるとよい。

接続する語句には、次のような種類がある。

順接	前に述べた事柄が、あとに述べる事柄の原因や理由になっていることを表す。	(例) すると、そこで、だから、それで
逆接	前に述べた事柄と、あとに述べる事柄が逆になることを表す。	(例) しかし、だが、でも、ところが
並立・累加	前に述べた事柄に、あとに述べる事柄を並べたり、付け加えたりすることを表す。	(例) しかも、そして、それから、またさらに、なお
説明・補足	前に述べた事柄について、あとからまとめたり補ったりすることを表す。	(例) なぜなら、ただし、つまり
対比・選択	前に述べた事柄と、あとに述べる事柄を比べたり、比べて選んだりすることを表す。	(例) または、あるいは、それとも
転換	前に述べた事柄から話題を変えて、あとに続けることを表す。	(例) さて、ところで、では

4 指示語（このこと）の指示内容は直前に書かれていることが多い。

2

- 1 空欄の前後がどのような関係になっているか考えるとよい。
空欄前 「いろいろな答えが返ってきます」
空欄後 「はっきり答えられる人は少ないでしょう」

2 水をおいしいと思う理由を答えられないのはなぜか考える。指定字数をもとに探す。

3 B 感を与える物質を含まず、うまさを感じさせる物質を適度に含んだ」とあるので、「うまさを感じさせる」と反対の意味の語が入る。

4 — 線部②を含む段落以降に「水をまずくする物質」が挙げられている。

3

1 指示語（それ）の指示内容は直前に書かれていることが多い。

2 「次のようなことがわかっています」とあるので、直後の文章に着目する。それぞれの選択肢から明らかに誤っている部分をそれぞれ探し、消去法で答えを求めるとよい。

3 「二つの単語」と「ダンスには二種類ある」は同じ内容を指している。



チャレンジ1

～ 国語の知識（表現・語彙・書写） ～

1 問いかけるときにどのような言葉を使うか考える。

2 富士山の写真パネルをもとに、山の形の特徴として適当なものを選ぶ。



実施日 年 月 日

氏名

1

1 指示語（それ）の指示内容は直前に書かれていることが多い。

2 直前の段落でケシゴムについて何が書かれていたかを考える。

3 本文では、「ケシゴムノ悲シミ」という表現が例として挙げられている。「ケシゴムノ悲シミ」のように、そのことばからはじめて考えたり、感じたりするような例はどれかを考える。

2

2 「外国製品にもたくさんある」は、当然の内容である。

3 空欄の前後の言葉を手がかりにして考える。空欄の前に「需要がなくて儲からず」とあり、空欄の後に「おそれ」とある。本文中にこれらの表現と同じ、または、似たような表現がないかを探す。

4 職人が手がけたものには何があるかと本文で書かれてあるかを探す。それぞれの選択肢から明らかに誤っている部分を探し、消去法で答えを求めるとよい。

3

1 「漢字」、「日本語」それぞれがもつ働きの意味を本文から読み取る。

2 空欄の前後の言葉を手がかりにして考える。空欄前に「漢字なら」とあるので、漢字なら何ができるかを考える。――線部②は「そうした」と指示語を含むので、直前の内容に着目するとよい。

3 「本来の意味を失わせていく」とほぼ同じ内容の表現を本文から探す。



1

- 1 直前の「なれないナイフを使ってえんぴつけずりに挑戦した子どもたち」を手がかりに考える。
- 2 直後に実技テストの内容が書かれている。指定字数に注意する。
- 3 本文最後の「あきらかです」は問題文の「わかったこと」に対応している。

2

- 1 空欄の前後がどのような関係になっているか考えるとよい。
空欄前 「親しさを再確認している」
空欄後 「新たな不安を引き起こしがち」
- 2 直後に「これは」とあるので、以降にその理由が書かれている。
- 3 直後に「その不安というのは」とあるので、以降にその内容が書かれている。
- 4 直後に「多くの人がその場に残る理由が書かれている。それぞれの選択肢から明らかに誤っている部分がないかを探す。
- 5 具体的に「〽状態」と書かれているところがないか本文中から探す。
- 6 空欄の前後の言葉を手がかりにして考える。それぞれ空欄の前に「メールを送った人」「受けた人」とある。本文中にこれらの表現と同じ、または、似たような表現がないかを探す。



チャレンジ3

～会話文～

- 1 「日時」と「目的」が入る。
- 2 人に何かを伝えるときに大切なことは何かを考える。それぞれの選択肢から明らかに誤っている部分がないかを探す。



1 3 空欄の前後の言葉を手がかりにして考える。それぞれ空欄の後に「のもいや」「と思われないう」とある。本文中にこれらの表現と同じ、または、似たような表現がないかを探す。

2 1 直後に「坂戸君」のことにについて書かれている。

2 空欄の前後の言葉を手がかりにして考える。空欄の後に「を必要としないことしかせず」とある。坂戸君は何を必要としないことしかしないのかを考える。

3 空欄の前後の言葉を手がかりにして考える。I には、坂戸君の態度が、II には、その態度に「私」はどうしている（思っている）かが入る。

3 1 ここでの「燃えた」は「ある感情に動かされて、気持ちが高ぶる」という意味で用いられている。

2 1 線部②の直前から「私」の状況を読み取る。

3 1 線部③の直前から「美和子」の様子を読み取る。「どのような態度」と問われているので、文末は「態度」とする。



チャレンジ4

～国語の知識(書写・語彙・文法)～

2 二字熟語の成り立ちには、次のような種類がある。

似た意味の漢字が組み合わさったもの。	(例) 「創造」 「獲得」 「増加」
意味が対になる漢字を組み合わせたもの。	(例) 「上下」 「寒暖」 「損得」
下の漢字が上の漢字の目的や対象を表すもの。	(例) 「読書」 「帰国」 「登山」
上の漢字が下の漢字を修飾するもの。	(例) 「国宝」 「海底」 「再会」
上の漢字が主語、下の漢字が述語になっているもの。	(例) 「頭痛」 「地震」 「骨折」

3 文節どうしとの関係には、次のような種類がある。

主述の関係	文全体の中で、主語を表す文節と述語を表す文節の関係。	(例) 私 は 中学二年生 だ
修飾・被修飾の関係	他の文節の内容を詳しく説明する文節と修飾される文節の関係。	(例) 大きな 犬 を 飼う
並立の関係	文節どうしが対等に並ぶ関係。	(例) 小さくて かわいい 花だ 。
補助の関係	本来の意味が薄れ、前の文節に補助的な意味を添えるだけになった文節とその直前の文節との関係。	(例) あの 人 を 知って いる 。

氏名	実施日
	年 月 日

1 指定字数をもとに考える。

2 直後に「『さよなら』で別れるよりもきつと喜んでくれる」とある。それぞれの選択肢から明らかに誤っている部分がないかを探す。

3 それぞれの選択肢から明らかに誤っている部分がないかを探す。

2 1(1) 冒頭に「最近自分は捨て子なのではないかと疑っている」とあることから考える。

(2) 「へその緒」は「親子の証し」という表現が本文にはある。

2 それぞれの選択肢から明らかに誤っている部分がないかを探す。

3 1 「タコ踊り」を始めてしまうのは兄である。兄の走り方を表現している部分を本文中から探す。「どのような走り方」と問われているので、文末は「走り方」とする。

2 空欄の前後の言葉を手がかりにして考える。I には、喜ぶ内容が、II には、不安の内容が入る。

3 兄は「一年から三年までずっと六人中四位以下のオレンジ色のリボン」をもらっている。「今年は……」の「……」には「よい成績をとってほしい」という内容が入ると考えられる。「くしてほしい」という意味をもつ漢字二字の熟語を考える。

チャレンジ5 条件作文

第二段落には、第一段落に書かれている「十歳代が最も読書すべき時期だと考える人が多い」とことについてのあなたの考えを書く。



実戦力UPトレーニング 2年 国語

ウォーミングUP ⑥ 小説文(悩み・葛藤)

ヒントプリント

本体 P 21 ~ 24

実施日 年 月 日

氏名

1 | 線部①の後に「隼人の身体が震えたくらうしてそんなことが普通に言えるんだ」とあることか
ら考える。

2 | 空欄の前後の言葉を手がかりにして考える。 I には、直也に理解してほしい内容が、 II に
は、隼人が心配している内容が入る。

2 | 1 「少年」は、回数券を使いたくない(買いたくない)理由を泣きながら、バスの運転手である河野さ
んに話している。

2 | 指定字数をもとに考える。

3 | 「かぶり」とは「頭」のことである。「少年」は財布を落としたわけではない。

4 | 目に涙が浮かぶと目に映る風景はぼやける。そのような表現を本文から探す。

5 | 「新しい回数券を買おうと、そのぶん、母の退院の日が遠ざかってしまう」という「少年」の考えは
だれにも話していない。それぞれの選択肢から明らかに誤っている部分がないかを探す。

6 | 線部⑤の直後に理由は書かれてある。



チャレンジ6

インタビュー

- 1 「先生」は一つの質問をして、すぐ別の話題に移ろうとしたことを注意している。
- 2 「もらう」の謙譲語を用いるべきである。「もらった」と過去形になっていることに注意する。
- 3 A 「学校新聞」の内容をもとにインタビューをしている。
B 「先生」がインタビューで語った「出会い」について感想を述べている。



1

〈会話文の見つけ方〉

① 会話に入る直前の言い方を探す。

(例) 「○○(が)言ふやう」

「○○(が)申すやう」

「○○いはく」

② 会話の終わりを示す言い方を探す。

(例) 「〜と(言ふ・こたふ・問ふ・尋ぬ・申す)」

「〜とて」

2

1 会話の終わりを示す言い方の「〜と」に着目する。

2 「そうじて松茸なども大木にならふものを」と「申された」のである。

3

1 ① 語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は「わ・い・う・え・お」に直す。

④ 「ゐ・ゑ・を」は「い・え・お」に直す。

2 「肉をくわえて河を渡った」のはだれかを考える。

3 指示語(これ)の指示内容は直前に書かれていることが多い。

4 本文は「犬がより大きい肉を手に入れようとしたために、手に入れていた肉を失う」という話である。

4

1 ② 「ゐ・ゑ・を」は「い・え・お」に直す。

③ 「イ段+う」は「イ段+ゆう」に直す。

⑤ 「ぢ・づ」は「じ・ず」に直す。

⑦ 語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は「わ・い・う・え・お」に直す。

4 「たいそう人になれた様子」なのはだれかを考える。

5 「あなかまゝ飼はむ」という姉の発言から考える。



実施日 年 月 日

氏名

1

- 2 (二つ目) 語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」が「わ・い・う・え・お」に直っていないところがある。
(二つ目) 「ア段＋う」が「才段＋う」に直っていないところがある。

- 3 だれがだれに対して質問したのか、質問に答えた人は、雪の何と何について答えたのかを考える。

2

- 1 「ゐ・ゑ・を」は「い・え・お」に直す。

- 2 空欄前に「天の支配者」とあるので、「天の支配者」に関することを探す。――線部①の直前に「孝養の心、空に知られぬ」とある。

- 4 親孝行のおかげで、「親に孝する者」が舟に乗るたびに都合のよい風が吹き、後には出世したという話である。

3

- 1 語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は「わ・い・う・え・お」に直す。

- 2 「どんな物でも突き通せない物はない」という意味である。

- 3 「以子之矛」を「④①②③」の順で読む。
「矛」から「以」へ二字以上返る。

- 4 「どんな物でも突き通す矛」で「どんな物でも突き通せない盾」を突き通そうとするとどうなるのかと聞かれて「楚人」は困っているのである。